

個別事業(取組)評価				
事業No,	12	施策の柱への位置付け	柱② 教員指導力改革	
事業名称	教員指導力改革実践事業 (教科研究センター費)		担当課	教育政策課
			当初予算額(千円)	22,045
			補正後予算額(千円)	20,150
			決算額(千円)	19,598

		当初計画	年度末点検・評価
①	現状(課題)とその要因	【現状】 ◆ 教員の教材研究、教科研究活動が個人もしくは小グループの範囲に留まっており、教材を開発・活用する力が伸び悩んでいる。 ◆ 教材研究・教科研究活動を積極的に推進していただくための教育資料等の整備が不十分である。 ◆ 教科研究センターが県内4か所に開設されたが、十分認知されていない。	ア 正確に把握していたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>) 教育センターでの研修及び校内研修において、幅広い年代、職層の教員から意見を集約して確認できた。
		【要因】 ◆ 教材研究、教科研究活動を支援する場や体制が十分整っていない。 ◆ 教材研究、教科研究活動を充実させるだけの教育図書や実践資料等を一堂に所蔵した施設の整備が不十分である。 ◆ 周知、宣伝活動が不十分である。	イ 十分に特定していたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>) 種々の研修において、幅広い年代、職層の教員からの意見を事前に集約するとともに、利用者に対するアンケートの結果や臨時職員を雇用したことによる資料整備の進捗状況の確認から特定できた。
②	目標(Outcome)	◆ 県内の教員が積極的に教材研究、教科研究活動を行えるよう、施設環境を整え、県内4か所の教科研究センターの年間総利用者数を3000人以上とする。 ◆ 平成21～23年度で、学習指導案1200本、授業映像200本、県内の優秀な実践事例、教材、教具等を収集する。	ウ 達成可能で具体的な目標を設定していたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>) 利用者数や資料の収集数など、経過や今後の見通しが数値で判断できるので、具体的な目標設定となっている。ただし、質的な改善に関する目標も設定するなどの改善も必要である。
		【検証(比較)方法】 ◆ 教科研究センター利用票の集計結果 ◆ 各資料等収集状況調査	エ 目標は達成されたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>) ◆ 平成22年度の教科研究センターの延べ利用者数 3,692人 ◆ 各資料等の収集 ・学習指導案の収集:平成22年度新規 約530本 ・ビデオ、DVD等:本部239本(教育センター図書室資料含む) 東部、中部、西部 約40本 ・書籍:平成22年度新規 約500冊
③	実施内容(Input・Output)	◆ 利用者が以下の内容を行うことができるための施設整備の強化 ・学習指導案、授業実践資料、教育関係図書、授業の映像等の閲覧・視聴 ・編集用機器を活用した映像教材の作成 ・教材教具の実物の閲覧 ・電子黒板、書画カメラなどICTを活用した授業づくり ・教育資料検索システムを活用した、学校等からの教育資料検索・閲覧 ◆ HP、広報誌等による積極的な周知・宣伝活動の展開 ◆ 授業づくり講座を県内3箇所計24講座実施 ◆ 授業づくりに関する悩み等がいつでも相談できるよう指導アドバイザーを常駐 ◆ 教科書センターとしての機能の追加	オ 計画通り実施されたか (Yes <input checked="" type="checkbox"/> No <input type="checkbox"/>) ◆ 施設整備の強化について ・学習指導案 約530本収集・展示(昨年度 約780本) 計1310本 ※昨年度の収集分については教育ネットで検索可 ・研究紀要等の授業実践資料…随時展示 ・教育関係図書…新学習指導要領に関する図書などを購入 ・取材した授業の映像…編集して閲覧・視聴可 ・教材教具の実物を展示し、体験できるようにしている。 ・電子黒板、書画カメラなどICTを活用した授業づくりについての質問には随時対応している。 ・教育資料検索システム…教育資料検索・閲覧できる環境を整備した。 ◆ HP、ポスター・リーフレットの各学校等への配付、各種研修会における紹介映像の映写、電子メールによる周知などの宣伝活動を行った。 ◆ 授業づくり講座…延べ12回実施 (同一内容の講座は参加者数によってまとめて実施) ◆ 授業づくりに関する悩み等がいつでも相談できるよう、開館時間には概ね指導アドバイザーを配置できるようにしている。 ◆ 小・中学校の各教科の教科書を配架している。

総合評価と今後の方向	目標達成度 B 「No」を選択した項目 <input type="checkbox"/>	【今後の方向】 教職員の自主的な教材や教科の研究が活発になるよう、授業改善のための授業づくり講座の充実や、土佐研、高教研などと連携した学び合う場づくりについて検討していく必要がある。
	【総合評価】 ◆ 教科研究センターの設備・資料の充実については、一定水準を確保できた。 ◆ 利用者数も目標値を超え、教員に対する教科研究センターの周知も進んだ。	